

西郷 広報

10月 1日

平成22年(2010)

No.478

—毎月1日・発行—

■これからもお元気でお健やかに……2～3

■「思い」を言葉にのせて……4～6

Main Contents



ジャガイモあった！

川谷地区で村立西郷幼稚園児がジャガイモ掘りを行いました。(8月27日)



▲まきば保育園児のダンス「バナナ天国」



▲スポーツ民謡愛好会「津軽の花」



▲まきば保育園児のダンス「ミニモニ。ジャンケンぴょん」



▶歌謡ショー：鈴木なか子さん



▶踊り愛好会「一番舟」



▲コーラスにしごう「野にさく花のように」



▲また、来年の敬老会でお会いしましょう。



▶歌謡ショー：東夕璃さん



▶歌謡ショー：菊池まことさん

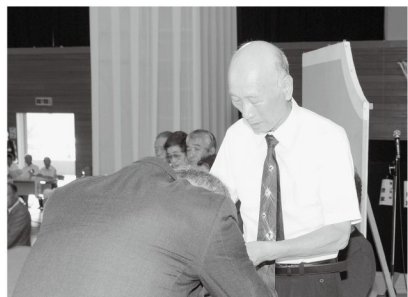


これからもお元氣でお健やかに

九月七日、平成二十二年度西郷村敬老会が村民体育館で開催されました。
当回は七十五歳以上の方三百五十名が出席し、記念品等の贈呈が行われました。また、福島民報社による結婚五十周年の金婚夫婦表彰も行われました。
式典後、数々のアトラクションが行われ出席者は盛んな拍手を送っていました。

平成二十二年度の敬老会で対象となった方は、昨年度と同じく七十五歳以上の方です。現在、西郷村には七十五歳以上の方は千八百四十六名います。
村長が式辞を述べた後、七十五歳以上の方に贈られる敬老祝金の贈呈や、各年齢ごとに贈られる記念品の贈呈が行われ、それぞれ代表者が村長や社会福祉協議会長から記念品を受け取りました。
七十五歳以上への記念品を贈呈された方は千六百七十四名、銀杯（八十歳）を贈呈された方は百四十九名、金杯（八十五歳）を贈呈された方は八十九名、座布団（八十八歳）を贈呈された方は四十七名でした。

また、結婚五十一年以上を祝って行われた金婚夫婦表彰では十六組のご夫婦が福島民報社から表彰されました。
式典の後、アトラクションに移り、まきば保育園児のダンスや各団体の踊り、コーラスや歌謡ショーが行われ、出席者は楽しい時間を過ごしていました。



▲敬老祝金を受け取る高崎武雄さん



▲記念品を受け取る梨本ヨシ子さん



▲銀杯を受け取る高橋武雄さん



▲金杯を受け取る室井久雄さん



▲座布団を受け取る相川ヨシさん



▲代表で謝辞を述べる蛭田国廣さん



▲金婚夫婦表彰代表：榎武男さん、ミサ子さん

「みんなのために」
みなさんは、この言葉から、どんなことを思いうかべますか。私は迷わず、おじいちゃんの顔を思いうかべます。私の大好きなおじいちゃん、いつも笑顔で、優しく、家族みんなのことを思っていてくれます。
そんなおじいちゃんをますます尊敬するきっかけになったのは、羽太小学校の体育館にある、一台のグランドピアノです。そのピアノには、おじいちゃんの名前が書いてあります。今から二十年以上も前に、おじいちゃんが学校に、このピアノを寄付したからです。
ある日の全校朝会で、このピアノの伴奏でいつものように歌を歌うと



【小学生の部最優秀賞】
「みんなのために」
近藤 夏澄（羽太小学校六年）

き、私は、ふと不思議になりました。（おじいちゃんは、どうしてピアノを学校にプレゼントしたのだろう。）
おじいちゃんにたずねてみると、おじいちゃんは、昔のことをなつかしむような顔をして、
「みんなのためだよ。」
と教えてくれました。昔羽太小学校にあったピアノは、線が切れていて、けんばんも押せないほど古かったのだそうです。おじいちゃんはそれを見て、羽太小に通う子どもたちみんなに、新しいピアノで楽しく歌を歌ってほしいと思い、寄付したのだそうです。
二十年以上も前から今までずっと、ピアノは大切に使われてきました。また、入学式でたくさんの六年生を送り出してきたのです。
私はこの話を聞いて、胸が熱くなりました。今まで何気なく見ていたピアノに、おじいちゃんの強くてあたたかい思いが詰まっていたことが分かったからです。自分のためではなく、羽太小の子どもたちみんなのために行動したおじいちゃんは、とてもかがやいて見えました。

これだけではありません。おじいちゃん家族を思い、羽太の地域を思い、世の中のみんなのために行動しています。おじいちゃんは、見守り隊の一人として、雨の日も、暑くて歩くのがいやになりそうな日も、私たちと一緒に歩いて安全を見守ってくれています。
また、防犯協会の会長として、村のお店を見回って犯罪を防いだり、危険を知らせたりする活動をしていました。おじいちゃんは、世の中から悲しい事件や楽しい事故が無くなるように願いながら、このような活動をしているということも分かりました。今の安全だけでなく、この先の未来も、世の中のみんながずっと平和に、安全に過ごせるように、おじいちゃんができることを一杯考えて行動しているのだと思います。おじいちゃんにとって「みんな」とは、家族はもちろん、地域の「みんな」、「世の中のみんな」だったのです。私は、おじいちゃんのこの気持ちに気が付き、おじいちゃんをほこりに思う気持ちが強くなりました。そして、おじいちゃんを改めて尊敬しました。来年の三月、私は卒業します。何十年も前から、あた



▲表彰式：教育長から賞状を授与されました

たくく見守ってくれたピアノで歌を歌い、堂々とした態度で卒業式をむかえたいと思っています。そのためにも、最高学年として「みんなのために」行動しなければいけないと思います。家族やクラス、下級生の友達みんなのため、そしておじいちゃんが教えてくれた、地域や世の中のみんなのために、私は、すぐにできることから行動に移したいと思っています。そしていつか私も、尊敬する大好きなおじいちゃんのように、世の中みんなのためにつくすことのできる人になりたいです。



第17回
西郷村少年の主張大会

日頃感じたこと
思うことを
テーマに発表

八月二十八日、西郷村青少年育成村民会議主催による「第十七回西郷村少年の主張大会」が、村文化センターで開催されました。
大会では、小学生五名、中学生七名と、特別発表の部三名の合計十五名による発表が行われました。
限られた時間の中で発表者は、父母や祖父母等家族とのふれあいで感じたこと、部活動や友人とのかわりの中で思ったことや考えたことをテーマに、自分の思いを自身言葉でまとめ発表を行いました。
集まった聴衆は、心のこもった発表に、暑さを忘れたかのように聞き入っていました。
発表の後、県子ども会育成連合会会長新井田萬壽子さんにより、「子育て

てをとおして家庭の役割を考える」をテーマにした特別講演会が行われました。

この大会の審査は福島県青少年育成専門指導員の青木崇郎さんと西郷村教育委員長菊地順雄さんから五名により行われ、結果は下記のとおりです。

表彰式の後、審査員の青木崇郎さんから「社会性、公共性のあるテーマについての発表が多くありました。自分の周囲や地域をたいせつにする話が多く、外に目が向く時期に自分の周囲や地域を思う意識が育まれていることはすばらしい事です。また、青年期の自我の拡大、友人との関係や部活を通して感じたことに関する発表もすばらしかったです。」との講評があり、更に、発表を行う場合の留意点等についての助言がありました。
次ページから最優秀賞受賞者が発表した全文を掲載します。

- ◆小学生の部 【敬称略】
▽最優秀賞
近藤 夏澄（羽太小学校）
「みんなのために」
▽優秀賞
星 成美（熊倉小学校）
「大切にしよう、自分の命」
▽優良賞
佐藤 如菜（小田倉小学校）
「お父さんへの感謝」
木村 瑛美（川谷小学校）
「命を大切にすることが出来ます」
久我 奈々子（米小学校）
「ソフトテニスと私」
- ◆中学生の部
▽最優秀賞
八島 知優（川谷中学校）
「Frontier Spirit」
▽優秀賞
秋川 夏菜子（西郷第二中学校）
「心をつなぐあいさつ」
鈴木 陸（西郷第一中学校）
「友だち」
▽優良賞
中田 奈緒（西郷第一中学校）
「母とわたし」
五十嵐 裕妃（西郷第二中学校）
「剣道との出会い」
大倉 大和（西郷第一中学校）
「ワールドカップと僕のサッカー人生」
今井 深久耶（西郷第二中学校）
「油断のこわさ」
- ◆特別発表
菊地 愛美（川谷中学校）
「異文化体験inブリティッシュヒルズ」
田崎 貴大（県立西郷養護学校）
「未熟であること」
鈴木 薫（西郷村PTA代表）
「健康でいること」

【中学生の部最優秀賞】

「Frontier spirit」

八島 知優（川谷中学校三年）



「Frontier spirit」。学校のTシャツに書かれたこの文字。直訳すると「開拓魂」。

これは祖母達が私の住む地域を開拓し始めた時から現在まで六十年、受け継がれてきた言葉です。この言葉には、開拓してきた人たちの思いがいっぱい詰まっています。

ある日祖父に「新しくできた公園に開拓の石碑があるから見に行こう。」と誘われ、祖父から開拓の話を知りました。川谷地区は戦後、荒れ地を耕して切り開かれた場所です。今でこそ、道路も整備されてトンネルも開通し、観光客で賑わっていますが、昔は岩や石だらけ。開拓するなどという無理だといわれた

所だったそうです。それでも鍬一つで、粘り強く耕して川谷を作りあげてきました。

私は生徒会副会長として現在、活動しています。

「この仕事、明日までにやらなくてはいけないのに終わらない。できないまま学校に持っていこうかな。」

と、弱音を吐くことがあります。そんな時、必ず祖母は

「自分の決めたことは最後までやり通さなきゃ駄目だ。」

と厳しく言います。私は何度もこの言葉に助けられてきましたが、広大な土地を耕してきたからこそ言える言葉だ。と今にして思います。

「開拓は一代にしてならず。」開拓は一代では終わらず、二代目・三代目へと精神が引き継がれることでやっと完成されていくという意味です。自分で決めたことにすら弱音を吐く私。先祖の思いを受け継いでいるのだろうか、はつとさせられました。

最近、最後までやり遂げずに諦めてしまう人が多いように思えます。祖母たちの代は開拓を進めなければ住む場所も、食べるものすら

ありませんでした。だから、生きるために、辛くても泣きたくても、鍬を振り続け、開拓者としての志を持ち続けました。

ところが、現代の私達は選抜肢の増えた社会の中で、それほど苦労もなく生活することが出来ます。辛いことがあると、目標を忘れ最後までやり通すことが少ないように思えます。現代は、生活が豊かになったぶん「これができなくても、別なことを頑張れば良い」というように選択肢が増えています。確かにそれも一つの考え方もかもしれませんが、その一方で大切なものを私達は手放している気がしてならないのです。手放しているもの、それは何か一つのことを「最後までやり遂げようとする心。」粘り強く最後までやり通すことで、新たな自分の一面や可能性を見つけることができ、目標を達成することで自信に繋がります。前に進むチャンスを得ることが出来ます。このことは祖母が日ごろ、私にみせている姿。荒れ地を農作物のできる緑の土地に変えた開拓者が私に教えてくれています。あきらめてばかりいることは、もったいないことだと思いますか？

「開拓なんてもう何十年も昔のことだ。」と思っていました。実際に開拓を経験したことのない私は、どこか他人事のようにも感じていました。

しかし、祖母達は私達に大切な精神を残そうとしています。

「開拓は一代にしてならず。」私は戦後、開拓を続けた祖母の孫です。生まれてから今まで川谷で育った開拓者の一人なのです。

「Frontier spirit」の文字を背負って私は生活していきます。



▲表彰式：教育長から表彰状が授与されました

九月下旬から国勢調査の調査員がみなさまのご自宅にお伺いし、国勢調査の調査票の記入をお願いしています。

みなさまのお住まいの地域を担当する国勢調査の調査員が、みなさまのご自宅に伺って、調査票の記入をお願いしています。

調査員は、国勢調査の調査員証（写真付き）、調査員従事者腕章を身につけ、専用の手提げ袋を持っています。

みなさまのご自宅に伺った際には、調査にご協力くださるようお願いいたします。

今回の調査から、調査票の提出は調査員に直接提出するだけでなく、郵送による提出も行うことができるようになりました。

みなさまにお配りした調査書類
収納封筒の中に、灰色の郵送用封
筒が入っておりますので、郵送に
よる提出を行われる場合には、調
査票をその封筒に入れ十月七日ま
でに郵便ポストに投函してください。
(切手は不要です)

また、調査票には必ずものなようにご記入くださるようお願いします。

「ここは、どう書けば良いのかわからない」とか、「設問の意味がよくわからない」といった場合には、そのまま記入せずに、調査員またはコールセンターへご質問ください。

なお、調査に関してご不審の点等がありましたら、役場にお問い合せください。特に、「かたり調査」ではないかと、疑われるようなことがありましたら、必ず役場にお問い合せくださるようお願いいたします。

コールセンター

※所定の通話料金がかかります。

☎
0
5
7
0
|
0
1
|
2
0
1
0

(固定・携帯電話の場合)

0367386677

(IP電話・PHSの場合)

■問合せ

企画調整課（広報統計係）

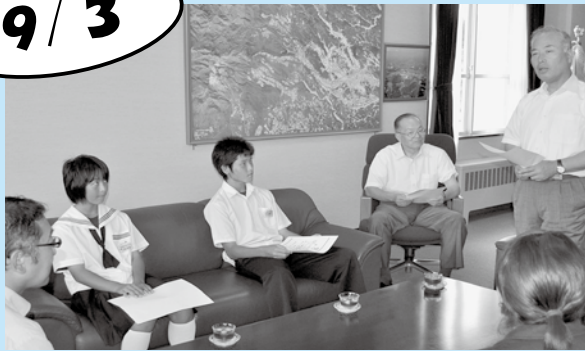
☎ 251-2943



8月23日から岡山市で開催された平成22年度全国中学校体育大会ソフトテニス大会に出場した西郷第一中学校から、出場選手代表として、3年の高崎直人さんと金内絵里さんが校長先生や顧問の先生とともに来庁し、村長や副村長、教育長に出場報告を行いました。大会で、西郷第一中学校は男女共に団体で全国5位に入賞しました。

全国大会もがんばりました

9/3



8/31

わたしの掘ったジャガイモ？

村立西郷幼稚園でカレーパーティーが行われました。子どもたちは、川谷地区の畑で自分たちが掘ったジャガイモや、幼稚園の畑で育てたニンジンやカボチャ、ナスをカレーの具にしました。年長組は、野菜の皮をむいたり刻んだりした後、鍋に入れ交代で炒めてカレーをつくりました。年少組は野菜サラダをつくり、みんなで楽しくカレーパーティーを開き、おいしくいただきました。

村内各小学校の6年生215名が参加し、9月8日から3日間、国立那須甲子青少年自然の家で合同宿泊学習を行いました。「村長さんのわくわく授業」の後、村長は各校の児童代表からの「遊具のある公園が少ないのはなぜですか?」「6年生の頃は何をしていましたか?」等の質問に、ていねいに答えていました。

村長さんに質問です

9/9



9/1

暑さの中を力走

第4回東白川・西白河中学校駅伝大会が西郷村台上コースで行われました。男女とも18校が参加し、男子6区間18km・女子5区間12kmのコースで競技が行われました。9月になったとはいえ30℃を越える気温の中、選手達は懸命に走りました。その結果、1位は男子が白河第二中学校、女子は白河中央中学校でした。また、西郷第二中学校が男子は5位、女子が3位に入賞しました。

平成22年度一般国道289号甲子トンネル防災訓練が福島県県南建設事務所と福島県南会津建設事務所の主催により実施されました。この訓練は甲子トンネル開通後、毎年1回実施されており今年で3回目になります。訓練は、トンネル内の事故により車両火災が発生したとの想定のもと、本番さながらの緊張感のある負傷者救出と消火の訓練が行われました。

9/10



▲油圧カッターで自動車の屋根を切断



▲自動車の中から閉じこめられた負傷者を救出

トンネル内の
事故に備えて!



▲負傷者を病院へ搬送するため救急車へ



▲車両火災が発生したため消火作業

練習の成果ができました

8月6日から北海道旭川市で開催された全日本小学生ソフトテニス選手権大会で、福島県選抜として出場した西郷村ソフトテニス協会ジュニアクラブの選手が結果報告に来庁しました。大会では団体女子が3位、団体男子が5位に、個人男子の菅野・西村組と個人女子の大貫・久我組が共に5位に入賞しました。

8/30



第五回 統計入門

◎ 10月18日は日本の「統計の日」です

日本で最初の近代的な生産統計「府県物産表」に関する太政官布告が公布されたのが明治3年9月24日です。この日に因んで、太陽暦に換算した10月18日が、日本の「統計の日」とされました。

これは、みなさんに統計の重要性に理解を深めていただき、統計調査にご協力いただけるようにと昭和48年7月に定められたものです。

◎ 今年は世界各国でも国勢調査が行われます

国連では少なくとも10年に1度、西暦で末尾に「0」のつく年を目安に、国勢調査を実施することを勧告しています。2010年8月1日時点で国勢調査を実施済、または実施予定の国と地域は200以上あり、日本もその国の一つです。(国連2010国勢調査プログラムホームページより)

世界の多くの国々で人口調査が行われることにより、世界の総人口を知ることができます。

「統計の日」をご存じですか？

◎ 「世界統計の日」

2010年6月3日の国連総会で、2010年10月20日を「世界統計の日」とすることが決議されました。今年は、日本だけでなく世界中で大切な統計が行われる年です。今回みなさんにご協力いただく調査は、世界の国々で行われる調査の一つです。調査員が伺いましたら調査にご協力くださるようお願いします。



■問合せ 企画調整課（広報統計係）
☎25-2943

秋の甲子高原を歩きませんか？

「うつくしま・みずウオーク 2010 源流の郷・西郷大会」が下記日程で開催されます。
秋風を感じながら紅葉に色づく甲子路を歩いてみませんか？

1. 日時

平成22年10月23日(土)
受付：8時30分～

2. 受付場所

「キョロロン村」ねころんぼ広場

3. 参加料

一般（予約500円、当日参加700円）
中学生以下（予約300円、当日参加500円）
未就学児は無料

4. コース

① 10kmコース
キョロロン村→剣桂→元湯甲子温泉・大黒屋→甲子大橋手前（折り返し）→元湯甲子温泉・大黒屋→剣桂→キョロロン村
② 雪割橋7kmコース（事前予約者のみ参加できます）
キョロロン村→（バスによる移動）→報徳地区集落センター→雪割橋→西の郷遊歩道（「山の幸の森」折り返し）→雪割橋→報徳地区集落センター→（バスによる移動）→キョロロン村

5. 申込方法

往復はがきかメールにより参加者氏名、住所、電話番号、参加コースを明記して下記の宛先にお送りください。

※駐車場整理のため、「乗用車利用」、新白河駅東口発の「シャトルバス利用」など、来場する交通手段を明記してください。

予約締切 10月18日(日) 当日消印有効

〒960-8648（住所不要）

「みずウオーク西郷大会係」

<http://www.minyu-net.com/> → 「イベント」 → 「みずウオーク西郷大会」 → 「参加申込書フォーム」

■問合せ 福島民友新聞社事業局事業部
☎024-523-1334
商工観光課（商工観光係）
☎25-2910



みなさんが県立図書館から借りた図書を県立図書館まで行かなくても、中央公民館図書室で返すことができますようにしました。
また、県立図書館の図書を借りてみたい！どんな図書があるか知りたいたい！といった疑問についても、お気軽にお問い合わせください。
電話でのお問合せは 25-2755です。

一般書 吉田 修一
悪人 朝日新聞社
龍馬伝Ⅲ 福田 靖
伝える力 NHK出版
伝える力 池上 彰
PHP研究所
児童書 湯本 香樹美
夏の庭 徳間書店
まち 新井 洋行
自由国民社

で存じでしたか？

新着図書案内



西郷村中央公民館図書室だより

日時 十一月二日(火)
午後一時三十分
～三時三十分
場所 西郷村立米小学校

今回は、米小学校に一般書から児童書まで二千冊あまりを載せたバスがやってきます。その場で図書を選んで借りることができます。米小学校の近くの方はもちろん、みなさんぜひご利用ください。

県立図書館「あづま号」
巡回のお知らせ



▲極真空手の演技（昨年の商工祭）



▲フリーマーケット（昨年の商工祭）

西郷村商工会主催により、第二十七回西郷村地場産業商工祭が開催されます。
当日予定される催し物は、駐車場の特設ステージでのあぶくま源流太鼓の演奏や、極真空手の演技、コーラスのほか西郷ウルトラクイズ、もちまきなどです。
広場ではミニ消防車やフワフワ、魚つかみ大会など子どもたちが楽しく遊ぶことができるアトラクションが用意されています。
また、飲食コーナーや特

■問合せ 西郷村商工会
☎25-1266
◆日時 十月十日(日)
午前九時三十分～
◆場所 西郷村文化センター
駐車場
製品の販売コーナー、フリーマーケットのコーナーもあり、商工会館一階ロビーでは、にが絵展が行われます。
秋の一日、西郷村地場産業商工祭にご家族でぜひ遊びに来てください。

秋の一日をおいしく
楽しくすごしませんか？

information

お知らせと情報

各課直通電話番号

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
総務課	25-1112	企画調整課	25-2943
税務課	25-1113	上下水道課(上水道)	25-2962
住民生活課(住民生活・環境・交通・防災)	25-1114	(下水道)	25-2912
福祉課(国保)	25-1449	会計室	25-2934
(地域福祉・児童福祉)	25-1509	議会事務局	25-2980
商工観光課	25-2910	農業委員会事務局	25-2946
農政課	25-1116	西郷村土地改良区	25-1116
建設課	25-1117	学校教育課	25-2370
	25-1118	生涯学習課	25-2371
		代	25-1111

保健福祉センター他

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
健康推進課(保健・高齢者支援)	25-1115	行政サービスセンター	31-2237
地域包括支援センター	25-5121	学校給食センター	25-1256
		※代表(25-1111)からの転送は不可	

●歯科医 10月休日当番日

3日	すずき 歯科	(矢吹町)	☎ 44-5555
10日	須藤 歯科医院	(白河市)	☎ 22-6460
11日	高久 歯科医院	(矢吹町)	☎ 42-3639
17日	秋山 歯科医院	(白河市)	☎ 34-3741
24日	ひまわり 歯科医院	(白河市)	☎ 23-5991
31日	円谷 歯科医院	(白河市)	☎ 27-1255

●小児科医 10月休日当番日

3日	樋口小児クリニック	(矢吹町)	☎ 42-2040
10日	みうら小児クリニック	(白河市)	☎ 28-1001
11日	わたなべ子どもクリニック	(白河市)	☎ 21-2166
17日	おかざきクリニック	(白河市)	☎ 23-2551
24日	岡崎小児科内科医院	(白河市)	☎ 23-7811
31日	関 医 院	(白河市)	☎ 23-3003

●内科・外科医 10月休日当番日

3日	緑が丘さくら診療所	(白河市)	☎ 35-1555
10日	吉田 外科医院	(白河市)	☎ 23-4033
11日	よこむら整形外科クリニック	(白河市)	☎ 21-1455
17日	ありがクリニック	(白河市)	☎ 21-1311
24日	わたなべ内科医院	(白河市)	☎ 22-1531
31日	渡 部 医 院	(矢吹町)	☎ 44-4111

※電話案内 しらかわ救急情報センター ☎ 23-9909
日曜・祝日のみ(10時～16時)
(看護師が電話にて当番医の紹介や当番医以外の専門医等の紹介・場所の案内をします。)

お知らせ

平成23年西郷村成人式 村外居住者の受付

村の成人式は平成23年1月9日(日)に開催される予定です。
村外居住者で、西郷村成人式に参加を希望される方は、受付を行いますのでお申込みください。
●該当者 村外居住者(村外に住民登録している方)

●生年月日 平成2年4月2日
～平成3年4月1日
●受付期間 11月30日(火)まで
●受付場所・電話 村文化センター
☎ 25-2755
☎ 25-2371

※村内住所登録者は後日、通知書(はがき)を発送し、ご案内します。

10月は不正軽油撲滅強化月間

県では、10月を「不正軽油撲滅

強化月間」とし、関係団体と協力して不正軽油の排除に取り組んでいます。

●不正軽油とは？

軽油に課税される軽油引取税を脱税するために、灯油や重油を混ぜるなどして製造した燃料で、環境汚染や不法投棄の問題の他に、石油製品販売業・運輸業・建設業などの公正な市場競争も阻害しています。

●不正軽油に関する罰則について

不正軽油問題へ厳正に対処するために罰則が強化され、不正

軽油に関わるすべての人が罰則の対象となっています。
不正軽油に関する情報などがありましたら、左記までお寄せください。

※福島県ホームページの「くらしと県税」からも情報提供できます。(匿名での提供も可能です)

■問合せ

福島県南地方振興局県税部
☎ 23-1519
FAX 23-1521
✉ kenan.kenzei@pref.fukushima.jp

「にしごうおいしいご飯の絵を描こう」ポスター展開催

10月1日(金)から25日(月)まで、ジャスコ白河西郷店2階イベントスペースにて、米の消費拡大事業の一環として、「にしごうおいしいご飯の絵を描こう」ポスター展を開催します。

村内の小学5、6年生が描いたおいしいご飯の絵が展示してありますので、是非ご覧ください。

■問合せ 農政課(農政振興係)

福島県県南地方の農産物直売所の合同販売イベント「秋の味覚祭」

●日時 10月16日(土) 10時～16時
●場所 メガステージ白河内の広場
●内容 県南地方の安全・安心・低価格の農産物と加工品の販売、新米の試食、新米バクダン、わたあめの無料プレゼントの実施

■問合せ

福島県県南農林事務所農業振興普及部
☎ 23-1568

第6回こころんまつり

●目的

①障がい者が地域において、ごく当たり前に社会生活が営めるように、地域との交流事業を実施する

②ひとりひとりが自立に向けて日々取り組んでいる利用者のありのままの姿を、まつりを通して地域の方々に知っていただく

●テーマ

「ひとりひとりが輝く原石」

●今月の納税

村 県 民 税 (3 期)
国 民 健 康 保 険 税 (4 期)
介 護 保 険 料 (4 期)
後期高齢者医療保険料 (3 期)

11月1日(月)までにお納めください。

※納税は便利な口座振替で

●村内の休日診療所 いわしなクリニック (☎ 48-1234)
[診療日] 10月3・10・17・24・31日(8時30分～12時30分)

●日時 10月17日(日) 10時～15時
●場所 泉崎村保健福祉総合センター

●内容

- ①「利用者にかかわること」
(1)利用者の発表(「夢を語る」・茶道・バンドなど)
- (2)利用者の作品の紹介・貼出し
- ②模擬店
焼きそば、コロッケ、おこわ、手芸品の販売、その他
- ③コンサート
ゲストを招いて音楽などを共に楽しむ

■問合せ

こころんまつり実行委員会
☎ 54-1115

パソコン甲子園2010

42都道府県469チームから予選を勝ち進んだ30チームの高校生などが、情報処理関係の技術を競います。
当日は競技のほか、豪華賞品が当たる抽選会も行います。
また、漫画家の「松本零士」先生の講演会も行います。皆様お誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。

10月～11月は 地産地消月間

「地産地消」は、豊かな自然や風土、先人が培った歴史や文化に育まれた農産物など地域の資源を地域みんなで賞味し、守り、育て、地域の活性化のために利活用していく取り組みです。

10～11月は実りの秋。安全で安心、おいしい食材がたくさん収穫されます。県内各地において収穫祭や物産展などのさまざまなイベントが実施される予定です。

この機会に実り豊かなふくしまを実感してみてください。



(福島県地産地消シンボルマーク)

■問合せ 福島県企画調整部地域振興課
☎ 024-521-7114

●日時

① 11月6日(土)

13時30分～17時30分

「プログラミング部門」

② 11月7日(日)

(1) 9時45分～12時15分

「デジタルコンテンツ部門」

(2) 13時15分～13時45分

寛捷彦先生講演

(早稲田大学理工学術院教授)

(3) 14時～14時30分

松本零士先生講演

(漫画家。著書「銀河鉄道999」など)

(4) 14時45分～15時45分

表彰式(抽選会)

●場所

会津大学(会津若松市一箕町鶴賀字上居合90)

●抽選会

11月7日(日)は、グランプリ(優勝)チームを当てて、豪華賞品が当たる抽選会を開催します。

■問合せ

パソコン甲子園事務局

☎ 0242-37-2532

FAX 0242-37-2546

✉ pc-proj@u-aizu.ac.jp

🌐 <http://www.u-aizu.ac.jp/pc-concours/>

相談

行政相談委員による
相談所の開設

相談所の開設

10月18日(月)から24日(日)の一週間は「行政相談週間」です。

行政相談は、役所(国、県および市町村)や特殊法人などの仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

村においては、行政相談委員が自宅などで相談に応じているほか、次のところで行政相談所を開設します。

●行政相談委員

・越前六郎さん

大字小田倉字小田倉原37-1

☎ 25-3367



▲越前 六郎さん

・柳沼英雄さん

大字小田倉字後原118-3

☎ 25-0573



▲柳沼 英雄さん

●行政相談所の開催日時と場所

① 10月18日(月)

② 11月29日(月)

時間と場所は①・②共に

13時30分～16時 村文化センター

■問合せ 住民生活課(住民係)

法務なんでも無料相談所

法務局職員・公証人・人権擁護委員が相談をお受けします。どんなことでも、なんでも、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

●日時 10月17日(日) 10時～16時

●場所 福島地方法務局白河支局

●内容

不動産・商業登記の手続・土地の境界問題(含む筆界特定)・遺産相続、地代・家賃などの供託、戸籍・国籍、夫婦・家庭内

の問題、成年後見、公証に関すること、お年寄り・子どもの虐待、いじめ・体罰問題、セクシュアル・

ハラスメント、障がい者の差別

問題など

●その他

電話相談も併せてお受けしております。

① 登記・筆界・供託・戸籍など

☎ 024-534-2021

※当日のみ利用できます。

② 子どもの人権110番専用

☎ 0120-007-110

③ 女性の人権ホットライン専用

☎ 0570-070-810

■問合せ

福島地方法務局総務課

☎ 024-534-1941

●善意

ありがとうございます。

◎西郷村に寄附された方々をご紹介します。

▼和知 正道さん

(7月14日、故和知英作氏の遺志として教育振興のために)

一〇〇、〇〇〇円

▼グランディ那須白河ゴルフクラブ

(8月31日、スポーツ振興のため)

四六、五〇〇円

西郷

Nishigo

デジタル化

Digitalization

宣言

Declaration



Chapter 4

村内地デジ化、進行中！

村内に設置されているテレビ中継局は、アナログ放送停波に向けてデジタル放送対応の中継局へと改修工事が進んでいます。また、新たな難視地区の住民のみなさんも、デジサポ福島の技術支援を受け、対策を行うための準備を進めています。

村では、最善の方法を国、県、放送事業者、住民のみなさんと共に検討し地デジ化を進めてまいります。

磐城西郷中継局（NHK 単独局）が地デジ放送を開始しました



蒲日向に設置されていた、NHK 単独のアナログ中継局は、8月に改修工事が行われデジタル放送対応の中継局として放送を開始いたしました。

アンテナを中継局に向けて視聴できる番組はNHKのみとなります。

また、エリア内であっても、地形や建物の陰などにより電波が遮られる場合など、視聴できないことがあります。

送信所（川谷南西高地）

放送局名	リモコン番号	周波数
NHK（総合）	1	28 c h
NHK（教育）	2	37 c h

「アナログ放送Xデー」放送終了は7月24日ではない！？

一般的に2011年7月24日がアナログ放送の終了日として、認識されていると思いますが、この日はアナログ放送の停波（電波の発射を止める）日とされており、実際に放送（番組）が終了するのは6月30日となる可能性があります。

このことについて、各放送事業者では対応策について検討をしているところで、翌日の7月1日から7月24日までの間は、デジタル放送への切り換えを促すメッセージのみ表示するか、実際の番組を放送し、その上にメッセージを重ねるなどにより、アナログ放送の停波をお知らせする形になる予定です。

地デジ相談会・説明会が開催されました

8月16日～20日の5日間にわたって、総務省デジサポ福島による地デジ相談会・説明会が役場庁舎前プレハブ会議室において開催されました。

地デジに変わるのなぜなのか？地デジの魅力などについて説明を聞いた後、参加者はご自分の家での地デジに関する問題点について地デジアドバイザーに相談をしていました。

アンテナの種類や、配線によっても受信状態が変わるため、視聴できない原因を特定するには専門の知識が必要となる場合があります。今回、相談会・説明会に参加できなかった方、相談したいことや聞きたいことがあったら、「電話いそげ！デジサポへ！」



■地デジに関する問合せ

総務省テレビ受信者支援センター デジサポ福島 ☎ 024-505-1010
企画調整課（企画情報係） ☎ 25-2943

行事

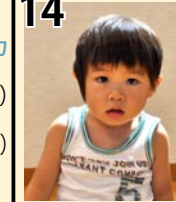
2010 年 10 月
October

カレンダー

●今月の顔———

歯科クリニックに来ていた (8/25)

元気はつらつな子どもたちです。

日	月	火	水	木	金	土
					1 生活総合相談所 (9:00 文化センター) みずほ保育園 「遠足」 (9:00 那須どうぶつ王国)	2 
3 真船生産組合直売所 (6:00 真船の菊地商店前) あぶくま水の郷スポーツ大会 (9:00 村民体育館)	4 甲子行政区地域懇談会 (13:30 ちゃぼランド西郷)	5 寿学級講座 (10:00 ちゃぼランド西郷) ポリオ予防接種 (13:00 保健福祉センター)	6 ポリオ予防接種 (13:00 保健福祉センター)	7 6～7カ月児健康相談 (9:30 保健福祉センター) 西郷単位制総合大学 講座「ボランティア活動について」 (18:30 文化センター)	8 生活総合相談所 (9:00 文化センター) まきば保育園 「親子遠足」 (9:00 那須どうぶつ王国)	9 
10 真船生産組合直売所 (6:00 真船の菊地商店前) 第 27 回西郷村地場産業商工祭 (9:30 文化センター駐車場)	11 体育の日	12 母子手帳の交付 (13:00 保健福祉センター) 心配ごと相談会 (13:00 高齢者生活支援センター)	13 クッキング会 (カレーづくり) (9:30 まきば保育園) 英語教室 (10:00 みずほ保育園)	14 	15 生活総合相談所 (9:00 文化センター) 全国地域安全運動「街頭活動」 (15:00 JR 新白河駅)	16 
17 真船生産組合直売所 (6:00 真船の菊地商店前) 西郷村消防団秋季検閲 (9:00 熊倉小学校) 文化祭芸能発表会 (9:00 文化センター)	18 行政相談所 (13:30 文化センター)	19 茶道教室 (年長組) (9:30 まきば保育園) 手話教室 (10:00 みずほ保育園)	20 	21 みずほ・まきば保育園「幼年消防大会」 (10:00 白河市総合運動公園) 3 歳児健康診査 (13:00 保健福祉センター)	22 生活総合相談所 (9:00 文化センター) 観劇会 (10:00 みずほ保育園) 親子観劇会 (13:00 村立西郷幼稚園)	23 うつくしま・みずウオーク 2010 源流の郷・西郷大会 (8:30 甲子高原・キョロロン村ねころんぼ広場スタート、ゴール)
24 真船生産組合直売所 (6:00 真船の菊地商店前) 第 20 回西の郷ロードレース大会 (8:30 村民野球場スタート・ゴール)	25 母子手帳の交付 (13:00 保健福祉センター) 心配ごと特別相談会 (13:00 高齢者生活支援センター)	26 サッカー教室 (10:00 みずほ保育園)	27 歯科クリニック (13:00 幼児, 13:45 6 歳児 保健福祉センター)	28 1 歳 6 カ月児健康診査 (13:00 保健福祉センター)	29 生活総合相談所 (9:00 文化センター)	30 
31 真船生産組合直売所 (6:00 真船の菊地商店前)						

★県南地域の主な行事です

- ・ 10/10、11 「白河どまん中 食と職の市」
(白河市中町・大手町・マイタウン白河 10:00)
- ・ 10/11 白河スポーツフェスティバル
(白河市中心体育館 9:30)
- ・ 10/16 「秋の味覚祭」
(メガステージ白河内広場 10:00 ～ 16:00)
- ・ 10/24 やぶき産業祭「ぎょうさん祭り」
あゆり温泉絶品市場
(矢吹球場特設会場他 9:30 ～ 15:00)

※行事日程等が変更になる場合もありますので、御了承ください。